

- ドイツのIfo経済研究所による5月の景況感指数は市場予想に反し、2カ月連続で上昇。現況指数は7カ月ぶりの水準を回復。期待指数は2カ月連続で上昇も、前々月からの回復は小幅にとどまった。
- 5月の米リッチモンド連銀製造業景気指数は市場予想を大きく下回り、2020年6月以降で最低に。先行き慎重な見方に加え、中国経済失速の懸念も意識され始めており、今後の動向に注視が必要。

独景況感指数の製造業指数は3カ月ぶりにプラス

23日にドイツのIfo経済研究所が発表した5月の景況感指数は93.0と、前月速報値の91.8（今回91.9へ改定）から91.4へ低下すると市場予想（ブルームバーグ集計。以下、同じ）に反し、2カ月連続で上昇しました。

内訳をみると、現況指数は昨年10月以来、7カ月ぶりの水準を回復しました。期待指数は2カ月連続で上昇しましたが、2020年5月以来、およそ2年ぶりの低水準となった前々月からの回復は小幅にとどまりました。このほか、同景況感指数のうち、製造業（食品を除く）指数は3カ月ぶりにプラスに転じ、同期待指数は2カ月連続でマイナスを縮小しました。

Ifoは、ドイツ経済はインフレ懸念や供給制約、ウクライナでの戦争からの回復を示し、景気後退の兆候は足もとでみられないとしました。

米地区連銀の製造業指数は6カ月後の予想が低下

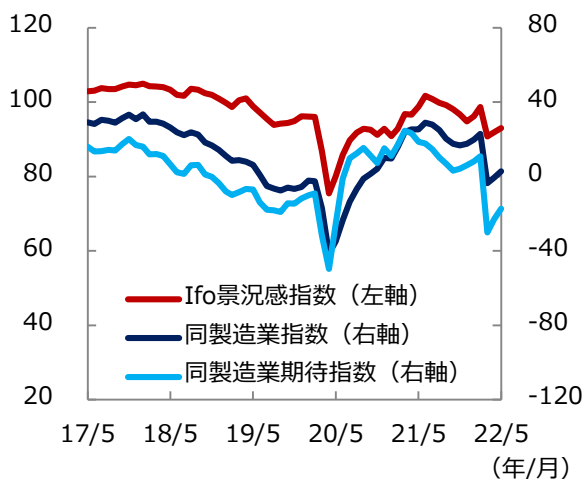
米国では、24日に発表された5月のリッチモンド連銀製造業景気指数は-9と、市場予想の10を大きく下回り、2020年6月以降で最低となりました。

内訳をみると、出荷が2020年5月以降で最大の低下幅となるなど、大幅に低下した項目が多数みられました。一方、物価動向を探るうえで注目される価格については、仕入価格が1997年6月以降の過去最高を4カ月ぶりに更新したほか、販売価格は今年1月に次いで過去2番目の高水準となりました。

6カ月後の予想は、出荷や新規受注をはじめとして大半の項目が低下、あるいは悪化しました。仕入価格は過去最高を5カ月ぶりに更新しました。

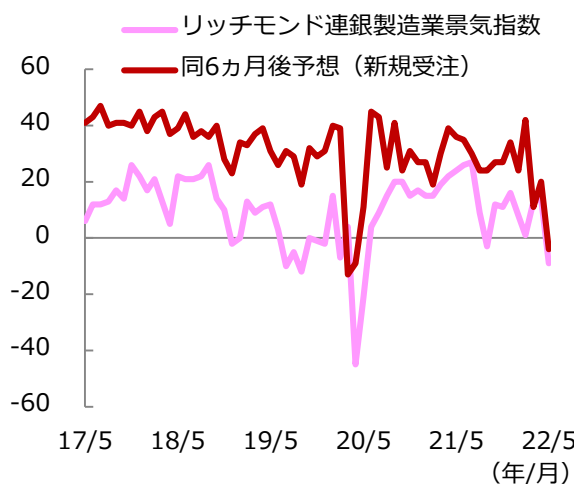
米独製造業の景況感には差異があるものの、先行きに対してはともに慎重な見方があると思われます。加えて、中国経済が足もとで失速すると懸念も意識され始めており、今後の動向に注視が必要です。

独 Ifo景況感指数の推移



※期間：2017年5月～2022年5月（月次）
Ifo景況感指数（2015年=100）は季節調整済

リッチモンド連銀景気指数の推移



※期間：2017年5月～2022年5月（月次）

出所：ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

※上記は過去の情報および作成時点での見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

※巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。



アセットマネジメントOne

商号等：アセットマネジメントOne株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第324号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

【投資信託に係るリスクと費用】

● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.85%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.09%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※ 手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※ 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※ 投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※ 税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

【ご注意事項】

- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。
- 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。
- 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、
 1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
 2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
 3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。